

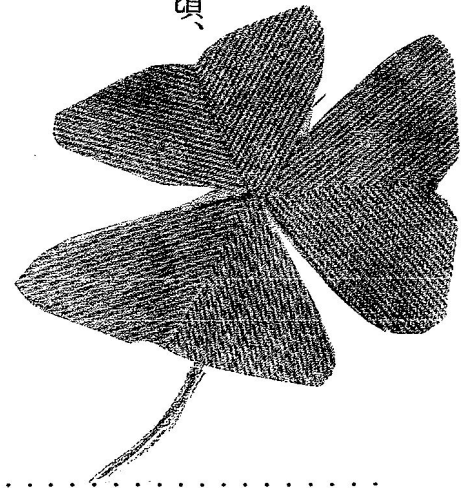
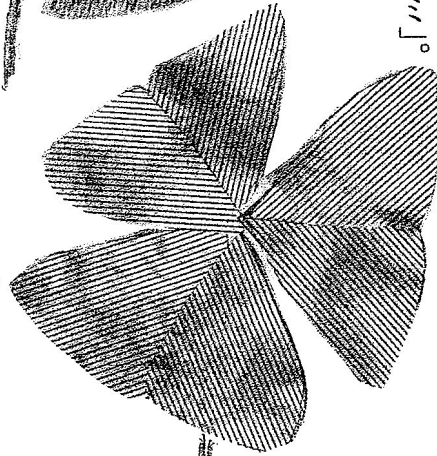
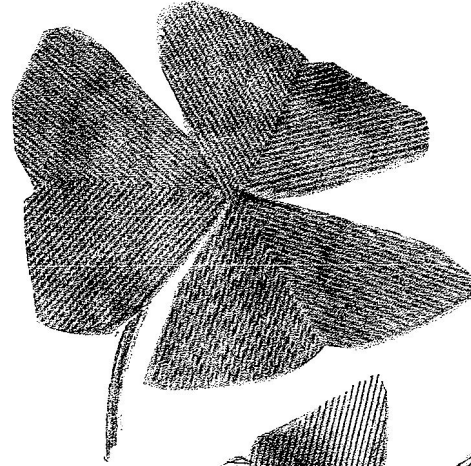
# われもこつ 第38号

2017年4月19日 発行

軽井沢の貴重な植物

## オオヤマカタバミ 【カタバミ科】

春、土の下で眠っていた植物達が目を覚ます頃、一番に落ち葉の間から花茎を出して恥ずかしそうに下を向いて花を咲かせるのが「オオヤマカタバミ」。



白い花びらの中に紫の筋が5〜6本入り1センチくらいの釣り鐘型に咲きます。花の後に3〜5センチの逆三角の葉っぱが出て花が終わるととんがり帽子のような種が出来ます。

扇平では沢山見られますが、

なんとこれは絶滅危惧種だそうです。

H. Y.

軽井沢周辺の植物についての雑感 岡田尚武 . . . . . p.2

栽培すると逮捕される？ 絶滅危惧種 カッコソウ . . . . . p.3

軽井沢の森 その2 . . . . . p.4

季語あれこれ ～地貌季語のはなし～ . . . . . p.5

会員の声 . . . . . p.6

# 軽井沢の植物についての雑感

岡田尚武（札幌市在住）



エンピセンノウ

私は6年前にリタイアし、国内外を歩き回って趣味の野草観察を楽しんでいる自然愛好家です。これまで富山県、山形県、札幌で暮らしてきたので、日本海側多雪地帯の植物は見慣れていますが、他の地域については退職後に観察を始めました。軽井沢については数回の訪問経験しかなく、手持ちの情報は多くありません。ここでは、これまで軽井沢とその周辺で出会った印象的な植物について、個人的な感想を書かせていただきます。

私にとって軽井沢で初めて出会えた魅力的な植物は、ルリソウ、トウゴクサハノオ、コガネコノメソウ、ハナネコノメなどですが、ヤマト（カルイザワ）テナンシヨウがテナンシヨウ属では最多の種なのには驚かされました。観察範



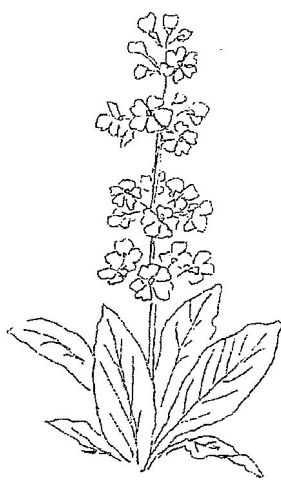
ルリソウ

囲を軽井沢近辺の高原にまで広げると、コウリンカ、センジュガン

ピ、レンゲシヨウマなどが、初めてお目にかかった魅力的な山地帯の種です。ところで、以前エンピセンノウをネット検索したところ、軽井沢にあったとする古い情報が見つかりましたが、まだ残っているのでしょうか。エンピセンノウは長野県、埼玉県、北海道に隔離分布するうえで、道内では今でも見られますが、軽井沢でこの美しい花をまだ見ることが出来るのか気になっています。

今回誌「われもこう」を拝見しましたが、軽井沢では至る所にあったサクラソウが激減したとか。北海道でも道路建設で有名な自生地が消滅した例はありますが、安定したサクラソウ群落はまだ何力所かに残っており、エゾシカはこれを食べないので絶滅する危険は小さいでしょう。ちなみに、北海道はサクラソウ属の王国で、8種5変種が美しい花を咲かせますが、クリンソウだけは数が増すぎて有難味がなくなってしまうました。日高山系の沢沿いや林道沿いでは、この目立つ花が延々と咲き誇っていて気味が

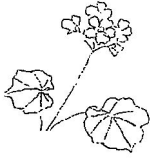
悪くなるほどですが、これは鹿の食害に起因しており、比較的最近の出来事なのです。ご存じのように、サクラソウの仲間には毒があり、エゾシカはクリンソウを残して他の植物を食べるため、選択的淘汰が起こった結果、この異様な光景が生まれたというわけです。宮城県の金華山でも、同じ理由でベニバナヤマシャクヤクの群落が多いそうですね。ところで、先日訪れた軽井沢町の白糸の滝周辺で、毒草で有名なハシルドコロの大きな群落が目につきましたが、これも同じ理由なのでしょう。もしそうなら、クリンソウ以上に有り難くない選択的淘汰ですね。



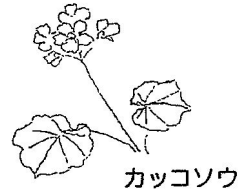
クリンソウ

（注） 著者は観察の成果をデジタル本3冊に纏めて無料公開しています。キレイな写真ですのでお読みになることをお勧めします。「北の息吹」で検索してみてください。

〔編集室〕



## 栽培すると逮捕される？ 絶滅危惧種 カッコソウ



カッコソウ

野花が土地を選ぶことは想像以上であり、我が家でも増やそうと願ってもいつの間にか消えてしまう種も多い。一方、ドンドン増えるものもあって、その一つが、絶滅の可能性が高いとされているカッコソウだ。10年くらい前に知人が「群馬県のサクラソウ」といって持ってきてくれたものである。サクラソウは、葉が長い楕円形なのに、これは丸い。また全体がやや大型で花の色はやや濃く、ニホンサクラソウとクリンソウの中間のような外観だ。我が家ではサクラソウの変種と思い、「丸葉サクラソウ」などと勝手に呼んで気にもかけずにいた。

ある時、今回本紙に寄稿してくれた札幌の岡田さんが我が家にやってきた。「これは絶滅危惧種の貴重なカッコソウである」というのだ。そして群馬県桐生市の鳴神山（標高980m）だけに生息し、栽培も禁止されているはずだと教えられた。どうすれば良いのかと聞くと、「大事にしておればいいんじゃないの」とのこと。それ以来、放ったらかしていた株を空いているところに植拡げるなど少しは気を使い始めるようになる。我が家の環境が合うのか、次々に株が増えて今もすこぶる元気である。

一昨年秋、禁止されているカッコソウの販売をしたとして10人が桐生市で逮捕されたことを知る。それを報ずる新聞によればカッコソウは、販売はおろか栽培することも禁止で、違反した場合は個人の場合、5年以下の懲役もしくは500万円以下の罰金が課せられるという。これはタイヘンと桐生市の環境課に「私はどうすれば良いのでしょうか」と電話を入れてみた。すると、「既に栽培しているのなら大事に育ててください。ただし増えたからといって無償であっても他人に譲る

ことは違法になるのでしないように」とのこと。

環境省は、絶滅に瀕しているものを4段階に区分している。カッコソウは最も絶滅リスクの高い絶滅危惧ⅠAである。なお、ルリソウはその次にリスクの高い絶滅危惧ⅠB類、サクラソウやヤマブキソウはその次の絶滅危惧Ⅱ類、シキンカラマツやレンゲショウマは最後の準絶滅危惧類に位置づけられている。この内、譲渡禁止はⅠAとⅠBのごく一部であって、ルリソウは対象ではないらしい。

絶滅が危惧されているのなら、人様にも差し上げてせいぜい増やしてもらえば良いと考えるのだが、そうもいかならない。私が、「桐生市の対策で充分なんですか？個人の繁殖に期待しなくとも良いのですか？」と担当者にいじわるな質問をすると、「対策が充分とは言えない、また鳴神山のカッコソウは近親交配が進んでおり、遠隔地のものと交配をしなければという話もある。いつかご協力をお願いすることもあるかも知れないが、今はとにかく大事に育てて下さい」とのことであった。丁寧な対応であった。ならばそれが可能になるまでは、せいぜい株を増やそうと考えている。

カッコソウは、かのシーボルトがヨーロッパに持ち帰り、オランダ・ライデン大学博物館にその標本が、また附属植物園に株が大事に育てられているという。以前にも書いたことがあるが、ヨーロッパのサクラソウ類はほとんどが黄色である。カッコソウは薄紅色であり見学者に評判が良いとのことだ。

Y.E.

## 軽井沢の森 (その2)

大槻 幸一郎

厳冬期の軽井沢の森は、ウラジロモミの黒々とした姿を除けば枯木の山で、寒々とした寂しい景観です。雪上に残る野生動物の足跡に命の動きを感じてホッとしますが、やがて春から初夏にかけての、草花のあふれる色彩と木の葉色の爽やかなグラデーションが見られるのも間近なのです。多くの野鳥達と風や川の流れ等とのダイナミックなシンフォニーを聴きたびに、軽井沢の森に繰広げられて来たドラマに好奇心をそえられるのは私ばかりではないでしょう。

一七八三年(天明三)の浅間山大噴火から二〇〇年余りが経っています。焼け野原になった軽井沢の野山が、自然の復元力と、その地で生活した人々との係わりから今日の森の姿になっていますが、大きく分けると次の5つのタイプの森に区分できます。

(1) 潜在植生と言われる人為の影響を受けない、その土地特有の植物相であるコナラ・ミズナラを中心とした広葉樹の森(雑木林)が、薪や炭などの燃料として周期的に利用されてきた離山のように

な広葉樹の森

(2) 一八八八年(明治二十一)の宣教師A・C・シヨールによる別荘建設以降、庭木として植栽されたウラジロモミやカエデ類などの庭園樹木による森

(3) 一八八二年(明治十五)以降、明治政府の財政救済を目的として時の財閥等に払下げられた草原や広葉樹林が食料増産のために一旦農地になったものの、不適地なために放棄されたりカラマツ造林などが行われた森

(4) 幕藩体制時の小諸藩による、水土保持の為に植栽されたカラマツやアカマツ人工林を原点とする国有林の森

(5) 長倉神社や諏訪神社などの寺社仏閣の境内に残る、多くの巨樹で構成される森

紙数がありませんのでこの内、(1)は



(3) について私の想いを書きます。

(1)のタイプは何の変哲も無いいわゆる雑木山です。しかし四季の変化の中で色とりどりの色彩の変化を見せてくれ、野生生物の繁殖地でもあり、現代流の生物多様性を維持すると言う意味では一番に面白い森ではないでしょうか。

(2)の別荘地帯のウラジロモミの巨木には、軽井沢らしさの象徴的意味合いがありますが、込み合って下枝が大きく枯れ上がっている樹木や、電線に枝が大きくかかっている樹木の早急な処理が求められます。最近、離山通りでは随所でウラジロモミの街路樹の間伐が見られるようになり嬉しい限りですが、別荘住民の不在等で伐採同意が取れないと言う行政の悩みは大きいようです。

(3)のタイプは比較的新しく整備された別荘地区に住んでいる方々が目にする森です。軽井沢を象徴するカラマツは春の芽吹きから、秋の黄金色した落葉期まで実に変化に富んだ楽しい森です。ましてや北海道・東北に分布するカラマツの多くの故郷が、長野県川上村を中心とした地域であると知ればカラマツが一層愛しくなるはず。しかし、カラマツは根が大地にしっかり食込む力が弱く、倒れやすいのです。樹種転換などを考慮してはどうかでしょうか。

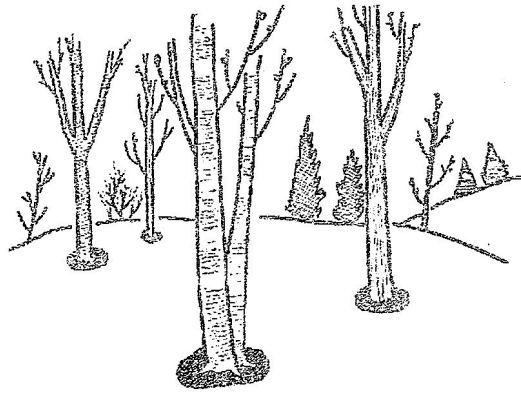


# つっちーの季語あれこれ

地貌季語のはなし

土屋忠史

俳句を詠む時に、手放せないものに歳時記があります。ただ日本各地には、その歳時記に記載のない、その土地の貌を映し出す季節のことがあります。日本列島という空間と季節という時間を一度に旅することができません。これらを総称して地貌季語と言います。現代俳句協会会長をされています宮坂静生氏が、長年その発掘に努められています。現在、五百六十余りの地貌季語を見出してあります。金子兜太氏、柳田邦男氏も推奨されています。



「木の根明く」(春) 雪国ではブナやモミなどの木の根から雪解けが始まります。そして大木の根周りの雪が丸くドーナツ型に溶け始め地面が現れます。いよいよ春本番です。

「立ち雲」(夏) 沖縄の入道雲、雲の峰を言います。真夏にそそり立つ雲を端的に表現しています。

「古書市」(秋)  
神田神保町界隈は、皆さんご存知の古書店街。約百七十軒の古書専門店があります。毎年十月下旬から十一月三日までの神田古本まつりが古書市です。

「箱根大学駅伝」(新年)  
毎年この駅伝の力走から、新しい年が始まります。一步一步大地を走るこの素朴さが何とも言えないですね。

「山の日」(夏)  
これは一番新しい地貌季語です。山の日  
は昨年施行され、八月十一日が国民の祝日となりました。山に囲まれた長野県人にとって山の恩恵に感謝する一日となるでしょう。まだまだありますよ。

【新年】 飴市 (松本市)

【春】 雪解星 (ゆきげぼし、北海道) ・ つるし雛 (伊豆)

【夏】 南十字星 (沖縄) ・ 若夏 (沖縄) ・ 肝だめし (各地) ・ アイススクリームの日 (横浜)

【秋】 木場の角乗り (江東区深川) ・ 竹節虫 (ななふし、各地) ・ 鱒煮る (青森県八戸) ・ 林檎の菜摘 (青森、長野など林檎の産地) ・ 吹っかけ雨 (茨城県の農村地帯)

【冬】 小夏日和 (沖縄) ・ ビル風 (都会) ・ 千切大根 (宮崎) ・ 雪まくり (北海道) ・ 寒緋桜 (沖縄) などなど。

ほんの一部を列記しました。もしどなたか、新しい地貌季語の提唱がございましたら、是非私宛ご連絡ください。最後に、地貌季語を詠み込んだつっちーの駄句をご披露しましょう。

木の根明き仮面ライダー出沒す

立ち雲のサイン「サインタンジエント

古書市の値札の上に又値札

箱根駅伝ひとつの樺意気燃ゆる

山の日や信濃の国の宝物

圏央道開通により、我が家（藤沢市辻堂）から軽井沢までの時間が大幅に短縮されました。しかし、まとまった日数がなかなか取れず、来軽の回数は以前と変わりません。「原っぱ作業日」に重なることも少なく、会員の皆様にお会いする機会があまりないのが残念です。

別荘を建ててから十年以上が経過し、軽井沢の庭もだいぶ落ち着きました。湖南の温暖な気候の庭に慣れている私には、厳しい環境に適応する植物の季節に感じて劇的に変化する様子は、とても新鮮に感じられます。

以前、それと知らずに発地あたりの路肩に咲く外来種を育ててしまったのです

# 会員の声



が、完全に駆除するのに二年余りかかりました。その折、外来種の逞しさに驚かされました。これでは開発による環境変化と外来種の侵入によって、在来の草花は追いやられてしまふと思いました。

自然環境を守ることは難しい時代ですが、せめて昔からの山野草を守ることに大切さは理解できます。「われもこう」の趣旨もここにあるのですね。会員の皆さんの活動のお手伝いが少しでもできれば幸いです。

## ◆父のこと

S. S.

九十八才の父が大阪より独りで来た。最寄り駅まで行くと主張するのを説得して、東京駅新幹線ホームまで迎えに。ほぼ半年ぶりの再会。しっかりした足取りだが歩みは確実にノロくなっている。

翌朝お気に入りのコーヒーでの歓談後早速庭に。よく動くこと！ 荒れ放題の庭を片付けて拳句の果てに高所の枝も切ろうとする。流石に百才近い老人が脚立

にのるのは恐ろしく夫の出番。四時間近くの労働。共に働いた娘の私は一年分の庭仕事を終えた疲労感。

また滞在中毎朝一時間半の散歩を欠かさなかった。これは私が娘時代はランニングだったが継続して今では散歩になった。ここ数年はついでに缶などを拾ってくるようになったのはご愛嬌。分別までに至らないところが九十八才(?)

昔からよく食べる人であったがいまだに信じられない程に食欲旺盛！ 肉もよく食べる。

よく喋る人でもあったがこれは難聴のせいで少し静かになった。

よく食べ、よく歩き、よく体を動かすことと趣味の俳句が長生きの要因だと思ふ。

今夏白寿のお祝いを、父の大好きな軽井沢で予定している。金沢廻りで軽井沢まで又独りで来るだろう。

軽井沢で詠んだ一句

浅間にはまだ雪残り 楯若葉

## ◆中部小学校での活動

玉野上正俊

中部小学校での「軽井沢自然クラブ」は、自然界の身近な生物の生態を観察したり名前を調べて標本を作ったりして、子供たちと一緒に自然に親しむことが目的の授業です。

この町のシンボルである浅間山は「生物」ではないのですが、何十万年という時間の流れの中で現在の姿があるのは正に「生きている」との思いからその成り立ちを砂場でジオラマを作りながら学習した事が最近ではとても楽しい事でしたが、そのことは前号で栗岩さんが詳しく書いて下さったので、ここでは省きます。

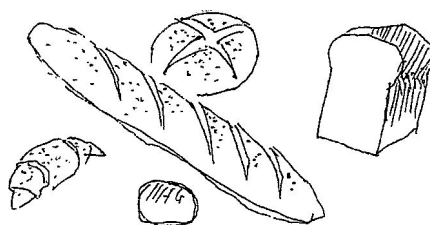
中部小学校での活動に私が参加して丸九年になりますが、印象深く思っているのは、参加した初めの頃ライ麦パンを子供たちと焼いた事です。

パンはイースト菌で発酵させて作りませんが、日頃何気なく食しているパンは、イースト菌という生物の不思議な力を借りておいしくいただいているという事を、

子供たちに感じてもらうというのがその意図だったのです。パン作りは私としては初めての体験でしたが、自分の手で作ったからでしょうか、「おいしい」と感じたその思いで、私のパン作りは今も続いております。

その後は自分なりの工夫を加え中に入れる具も何種類か考えたりし、今ではこのパンのファンが沢山出来て、このパンが届くのを、首を長くして待っている人たちが居る事が私のパン作りが長く続いている理由かもしれません。

話は変わりますが、アイスパークで行われた今年のカーリングの日本選手権では男女共軽井沢のチームが優勝しましたが、「軽井沢自然クラブ」での我々の教え子の一人にこの女子チームで活躍している女の子が居る事も私の嬉しい事のひとつです。近い将来オリンピックにも出て大活躍してくれるのではと期待しているので、皆さんも応援して下さい。



会員の皆さん、  
年会費の納入をお願いします

年会費：1,000円  
65才以上の方は 500円 です。

ゆうちょ銀行  
記号 11140 番号 11548451

郵便振替口座  
00500-9-71948

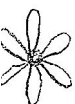
または直接、会費納入窓口  
十二屋文具店（中軽井沢）まで

## ◆今年のキーワードは「スカトレ」

【言葉解説】スカトレとはスカップ軽井沢トレーニングルームの略称。またはそこでトレーニングをすること。

われもこの会にもスカトレ部があるんですよ。

運動不足を解消したい人や、メタボ検診に引っかかった人、筋トレをして腰痛改善したい人がはじめたスカップ軽井沢トレーニングルーム通い。原っぱの作業シーズンが終わる11月からスカトレ部を再開します。会員の皆さん、冬は「スカトレ」しませんか？



# 2017年も咲かせます！



マツムシソウやオミナエシ、アサマキスゲ、キキョウ、ナデシコ、ワレモコウ…。軽井沢で昔から咲いていた野の花が原っぱを彩ります。

## 2017年の作業日

- 5月14日(日)、24日(水)
- 6月 4日(日)、14日(水)、25日(日)
- 7月 5日(水)、 9日(日)、19日(水)
- 8月 6日(日)、23日(水)
- 9月 3日(日)、13日(水)
- 10月 1日(日)、18日(水)
- 11月 5日(日)

## 会員募集中です

原っぱの作業日、見学にお越し下さい。

～集え！ボランティア・地域活動の仲間たち～  
第7回ちいき活動みほん市のお知らせ

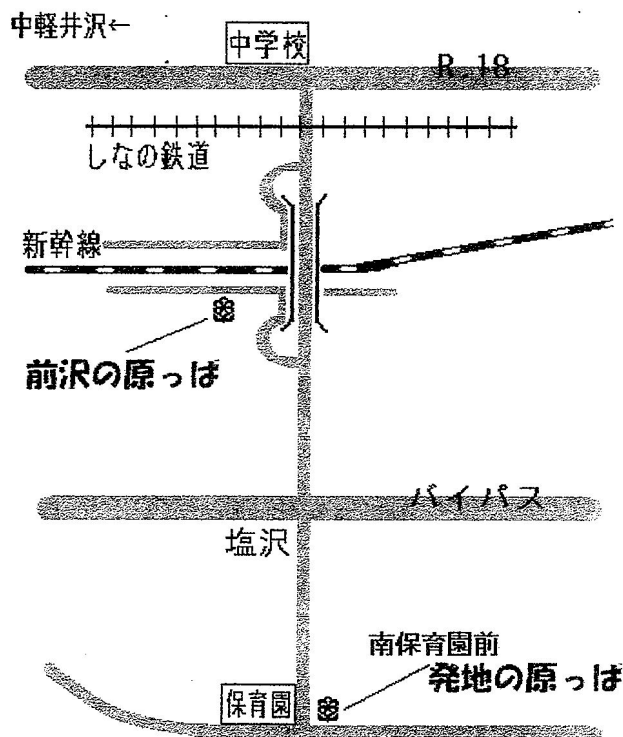
主催：第7回ちいき活動みほん市実行委員会  
軽井沢町ボランティアセンター運営員会

日時：5月28日(日) 13:30～15:30

会場：中央公民館 大講堂

われもこの会も出店します！

今年は山野草の苗を用意してお待ちしています。  
表紙で紹介したオオヤマカタバミの苗や、初心者にも育てやすいオミナエシやワレモコウの苗などいろいろありますよ！



●日曜日は発地の原っぱ

●水曜日は前沢の原っぱ

午後1時30分集合

(作業の進行状況等により

移動することもあります。)

●雨天中止

●持ち物：日除けの帽子、園芸用手袋  
スコップや草刈り鎌、  
水筒(熱中症予防に)

●会員以外の方の参加、大歓迎！

◆◆◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆◆◆

編集室では会のホームページ(HP)のリニューアルを計画しています。情報発信頻度・会員相互の情報交換など会報誌とHPが車の両輪として機能するように制作します。乞うご期待!!!

◆◆◆◆◆

発行/われもこの会 tel./090-4442-4387 E mail/waremokounokai@kna.biglobe.ne.jp